

大会アピール

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を理念とした「水源の里」の活動は、治水・利水の面から運命共同体とも言える同じ流域に住まう住民全員にとって、とても大切な活動です。

本日、「第16回全国水源の里シンポジウム」に参加した私たちは、農産物や観光資源が自然災害に見舞われながらも、地域の力と災害ボランティアの支援を受けて復興を果たし、これからも、地域の連携やコミュニティの力により、文化や伝統を地域の誇りとして受け継いでいく人々の営みに、「水源の里」の可能性を見出すことができました。

私たちは、基盤とも言える「水源の里」を、決して欠くことができない流域の構成要素として捉え、確実に次世代へと繋いでいくため、一体となって次のことに取り組むことをここに宣言します。

- 一 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携の必要性を全国にアピールするとともに、「水源の里」の持続的展開により、地域の文化・伝統の継承と新たな価値の創造を目指します。
- 一 地域コミュニティの力を活かした災害復興と連携の促進により、豊かな自然資源や歴史文化、温もりある人間関係にいろどられた「水源の里」の魅力を積極的に発信し、多様な形で関わろうとする人々を支援し増やしていくことで「水源の里」の活性化を図ります。
- 一 定住対策の推進、農林業などの地域の資源を生かした産業の創出、情報通信の基盤整備、有害鳥獣対策などの水源の里の地域の課題を住民、地方自治体は、それぞれの役割の中でその解決をはかることに努めます。

以上を確認し、大会アピールとします。

令和6年11月21日

「第16回全国水源の里シンポジウム」参加者一同